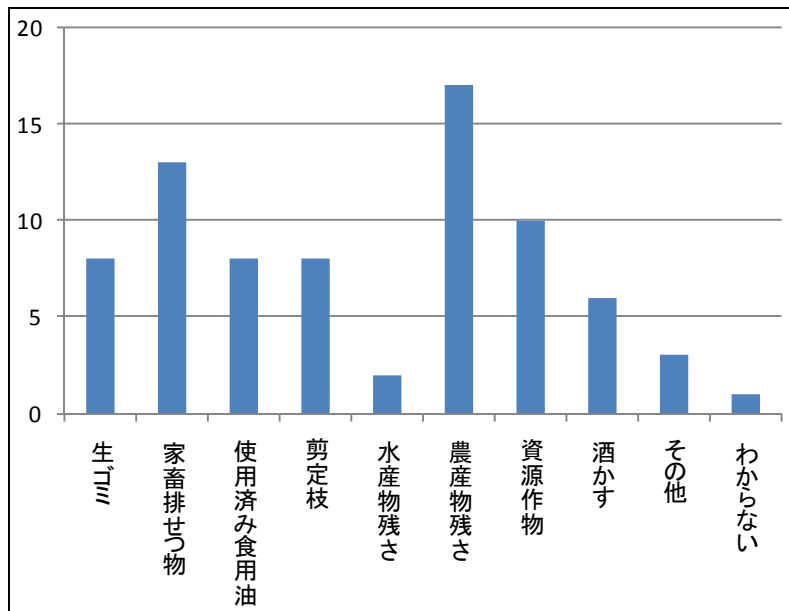


【参考】宮古島バイオマスシンポジウムにおけるアンケート調査結果について

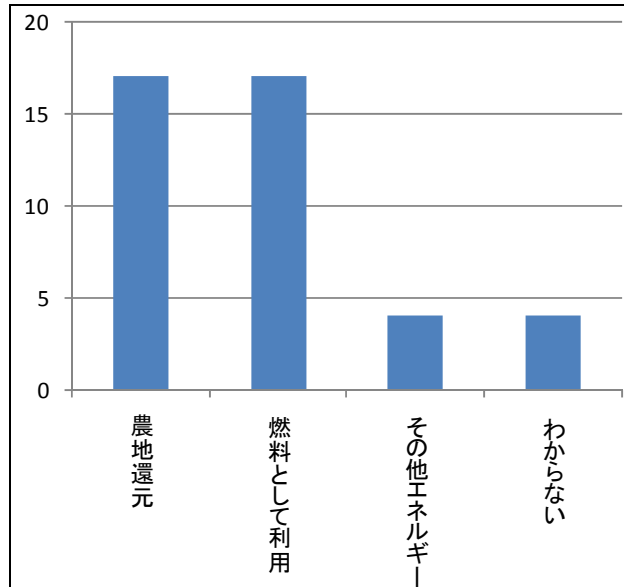
日時 : 平成 21 年 7 月 24 日(金)
場所 : 宮古島支庁 2 階大講堂
目的 : 今年度事業内調査の試験的な位置づけでアンケート調査を行った。本調査の結果をもとに、今後のアンケート調査内容、方法等を決定する。

アンケート回収数は 35、そのうち宮古島市内にお住まいの方は 26 名。「問 1 バイオマスを知っていますか?」という質問で、35 名中 28 名は知っている、6 名は知らない、という集計結果になった。

また「問 2 あなたの身の回りでバイオマスを利用している施設はありますか?」で、“ある”と答えた方は 25 名、そこで利用されているバイオマスの種類やその利用方法については、以下のような結果が得られた。

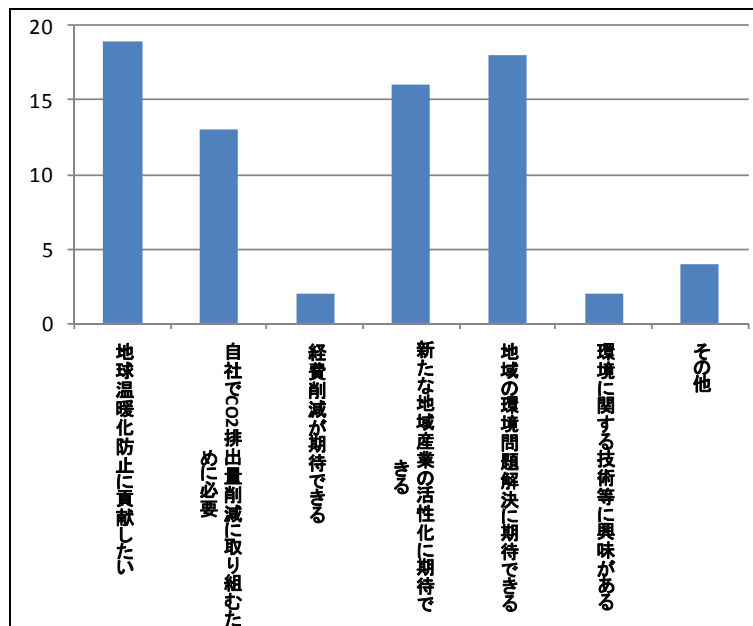


【利用されているバイオマスの種類は何ですか?(複数回答可)】



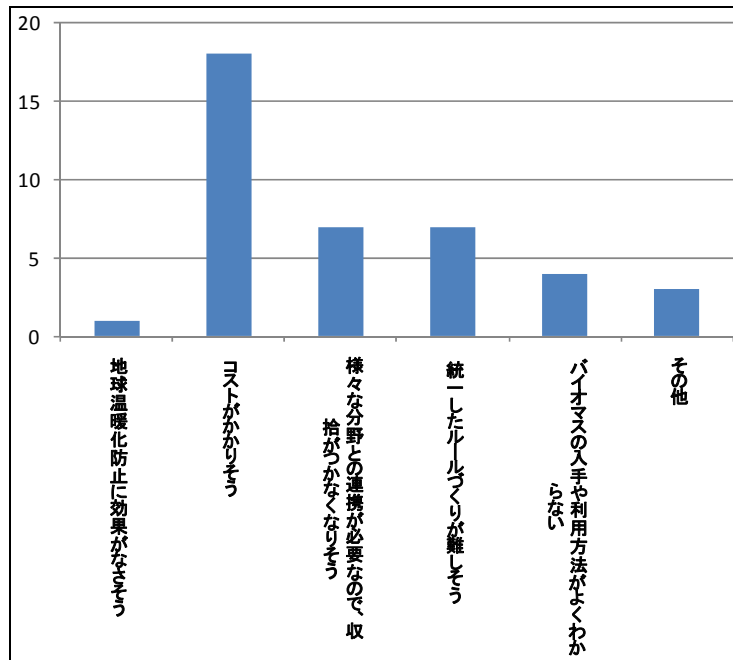
【どのように利用されていますか？(複数回答可)】

(問3)の集計結果から、問題がなければ利用してもよい、と考えている人も含めると、全員がバイオマス活用は積極的に利用するべきと考えている。また、その理由として、以下のような結果が得られた。ほとんどの方が環境問題解決のため、利用すべきと考えている。



【バイオマスを利用したい理由は？(複数回答可)】

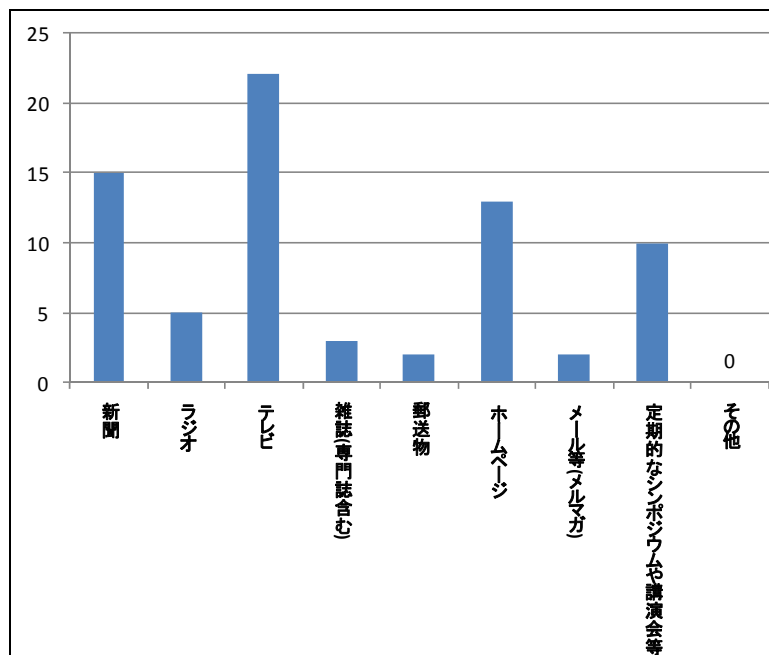
ただ、以下のようにバイオマスの利活用にあたり、多くの人が「コストがかかりそう」と感じているようだ。



【バイオマス利用で問題になると思われることは？(複数回答可)】

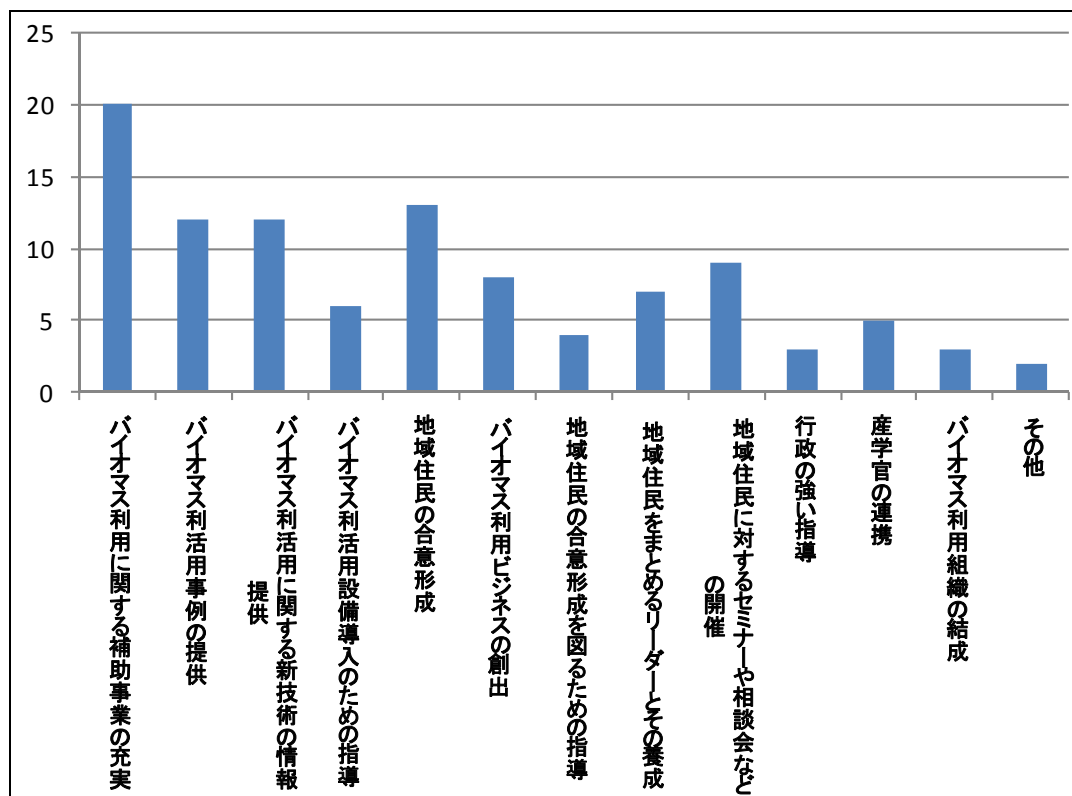
(問 6)の集計結果から、バイオマス利活用を推進するための国や関係機関による施策や交付金制度があるとほとんどの人が知っているが、どのような支援策、交付金制度になっているか知らないという人が約半分を占め、(問 7)においてはこのような支援策や交付金制度等の情報は、多くの方が非常に必要としていることがわかった。

そのため、このような情報を積極的に発信していく必要があるが、どのような手段が有効か聞いてみたところ、やはりほとんどの人がテレビ・新聞による情報発信が有効と考えているが、ホームページも重要な位置を示しており、有効な手段のひとつであるという結果が得られた。



【情報発信には、どのような手段が有効か？(複数回答可)】

最後に、バイオマス利活用を推進していく上で何が必要かという質問を行ったところ、バイオマスに関する補助事業の充実が必要と考えている人が圧倒的に多く、次に、地域住民の合意形成やバイオマス利活用に関する情報であった。意外にも、産学官の連携や行政の主導が必要と考えている人は少なかった。



【バイオマス利活用を推進するには何が必要か？(複数回答可)】

《まとめ》

今回は試験的なアンケート。今後の修正点・検討する内容として、

- 専門分野の人向け、一般向けで作成しなおすかどうか
- もう少し掘り下げた質問内容、選択肢を用意する。そのためにも、ページ数を増やしても問題ないかどうか検討
- 今回のアンケート内容をもとに、インターネット上でも可能かどうか検討
- 今回は試験的であったので必要なかったが、各イベントで回収数を増やす手段を検討すべき